

## 【水府小中学校区の経過（第3回学校運営協議会内容まで）】

1. 学校運営協議会委員（学校職員を除く10名）と依頼にあたっての考え方について  
 依頼（打診）した時期… 令和4年2月～3月頃
  - ・コミュニティー代表4名  
 …各地区の代表として、地域の現状や意見を踏まえた学校への意見を期待できる。また、コミュニティー相互の連絡体制ができており、地域と学校の一層の連携も期待できる。
  - ・水府支所職員1名  
 …支所の職員として地域と学校と関わりについて多様な意見を期待できる。
  - ・学校評議員経験者3名（元PTA会長、読み聞かせボランティア代表）  
 …学校教育への関心が高く、また学校評議員としての経験を生かした意見が期待できる。
  - ・PTA関係2名（前PTA会長、現PTA会長）  
 保護者としての立場からの意見を期待できるとともに、保護者との連絡調整
  - ・学校関係（校長、小中教頭、小中教務）
  
2. 保護者・地域・職員への周知について
  - ・保護者 … 令和4年度PTA総会時の校長あいさつの中で
  - ・地域 … 令和4年度の学校だよりの中で
  - ・職員 … 令和4年度4月の職員会議で
  
3. 第1回学校運営協議会（6月23日（水）13：30～16：00）について
  - (1) 開会、辞令交付・教育長あいさつ、自己紹介
  - (2) 授業参観、施設等視察
  - (3) コミュニティスクールについて（市職員）
  - (4) 会長・副会長の選出
  - (5) 協議（進行：会長）
    - ①学校運営基本方針の説明（校長）と承認
    - ②学校運営・支援についての協議
      - ・話題（支援※登下校の見守り、学習に当たっての地域の情報、吹奏楽部の活動など）
  - (6) 閉会

成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会委員で、コミュニティスクールの目的や地域連携の重要性について共通理解を図ることができた。</li> <li>・地域の代表に学校運営基本方針を説明し、学校の具体的な施策について承認が得られ、育てたい子ども像について情報共有ができた。</li> <li>・学校における働き方改革の取組や教育活動等の要支援事項について理解が得られ、地域が学校に積極的に関わり連携しようとする気運が高められた。</li> <li>・会長が中心となり、各地区での協力や次回の協議事項について見通しをもつことができたこと。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域が互いに連携し合うため、次回以降の学校運営協議会の進め方と具体的な取組の検討</li> <li>・学校と地域が互いにWin-Winとなれる関係づくりと共通目標に向けた取組</li> <li>・学校と地域が課題解決に向けて「当事者意識」をもって取り組む連携の在り方</li> <li>・次回の学校運営協議会に向けての具体的な提案に対する意見聴取</li> </ul>

4. 第2回学校運営協議会（9月27日（水）14：30～16：00）について

※新型コロナ感染防止のため、授業参観は実施せず

- (1) 開会
- (2) 学校運営・支援についての協議
  - ①下校時における児童の見守りについて
  - ②中学校総合的な学習の時間におけるゲストティーチャーについて
  - ③子どもを守る110番の家の把握について
  - ④その他
- (3) 連絡・確認事項
  - ①学校運営協議会の開催文書について
  - ②3世代交流会の中止と代替行事について
  - ③学校だよりへの掲載について

(4) 閉会

成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の協議会の中で、委員から次回の協議内容について、事前に文書でほしいという要望があったので、開催文書とともに協議内容を配付した。内容を把握していたため、実際の協議ではいろいろな意見を聞くことができた。</li> <li>・委員の水府小・中学校の子供たちの成長を願う気持ちを再確認できた。</li> <li>・水府地区には、学習や行事に協力的なたくさん有名も方々がいるという情報を得ることができた。全国区で活躍する著名な方もおり、地域人材バンクを作成する際には、協力できる（声を掛けることができる）という声が聞かれた。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの意見が出たり、疑問点が出たりして、共通理解を図るのに時間がかかり、予定どおりに協議の内容が進まなかった。年度内に実施することが難しい内容も多いため、来年度を見据えた話し合いが必要である。</li> <li>・もっと活動が活発になるように、学校運営協議会の中に「地域学校協働活動推進員」を置くなど、組織の見直しが必要と感じた。</li> <li>・来年度は、学校運営協議会の回数を増やし、協議内容の具現化を図る必要があると感じた。来年度の計画を立てるときに十分に踏まえて対応したい。</li> </ul>

5. 第3回学校運営協議会（2月9日（木）13：30～16：00実施）について

内容

- (1) 開会行事
- (2) 授業参観
- (3) 学校運営・支援についての協議
  - ①来年度に向けた学校運営・支援について
    - 下校時の見守り、地域人材を活用した取り組みの活性化
  - ②令和5年度学校運営基本方針について
  - ③令和5年度学校運営協議会委員の選出について
  - ④その他
- (4) 閉会

成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度へ向けての方向性や取組について協議ができた。</li> <li>・水府小中学校 学校運営協議会組織（案）が承認された。</li> <li>・水府地区町会長が、学校を視察することになり、コミュニティ・スクールを理解していただく機会ができた。</li> <li>・第1回が6月23日になってしまい、年度が2か月過ぎてから学校運営基本方針を承認していただいた。今回は、前年度末に令和5年度学校運営基本方針を提示し、方向性についての承認をいただくことができた。</li> <li>・子供たちの水府を紹介する作品を展示する場所等検討していただけることになった。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の学校運営協議会の進め方（回数・時期等）</li> <li>・4つのコミュニティの会長の内、3名が年度切り替えて退任されるため、来年度新しく選出された方が学校運営協議会委員となる。引き継ぎに課題がある。</li> <li>・今回承認された「水府小・中学校学校運営協議会組織」を来年度機能させていくための手立て</li> <li>・地域社会の中核を担う若者を協働して育てるためのコミュニティ・スクールであるという意義についての共通理解</li> </ul>

## 6. その他

- ・研修会への参加（令和4年10月14日北茨城市）  
運営協議会議長：小林 正典，水府中学校教頭：田邊 佳代，市教育委員会：井上 一宏

## 7. その他、コミュニティ・スクールについて心配なことや教育委員会に支援をお願いしたいことなど

- ・来年度に向けて、学校運営協議会委員の決め方や時期について  
昨年度は、学校運営協議会委員の選考が年度末になり、年度内に行うべき学校運営基本方針の承認が今年度6月末になってしまった。今後、各校が学校運営協議会を円滑に進めていくために、市教育委員会からのスケジュール管理が必要である。  
委員選考についても、学校からの提案を基に事前に市教育委員会からの意見をいただき、共に選考に携わりながら決定していきたい。
- ・R4年度末とR5年度以降における本市のコミュニティ・スクール推進プランを具体的に示していただけると今年度の本校での取組にも見通しがもて、次年度以降、他の小中学校も取り組みやすくなる。
- ・運営協議会実施にあたり、資料等の準備が必要になるため、学校運営協議会活動費のようなものを配分していただけるとありがたい。
- ・文部科学省から示されている「これからの学校と地域」の中にもあるように、地域に「地域学校協働本部」を設置していただきたい。「地域学校協働本部」の中に人材・活動などのコーディネートを担う「地域学校協働活動推進員」を位置づけていただくと、よりコミュニティ・スクールが推進できる。
- ・学校運営協議会委員や地域の方々が、学校のために活動する際の保険加入について、安心して活動できるよう検討していただきたい。
- ・学校運営協議会委員も研修ができる機会を設けて欲しい。（コミュニティ・スクールについての理解のため）
- ・今後、市内各中学校区でコミュニティ・スクールが開始されていくにあたり、市教育委員会の支援とリードが必要であるため、引き続き各校への深い関わりをお願いしたい。